

みらい創生の取組の方向性

<目指す方向>

- ① 住んでよし・訪れてよし
(市民満足度を高める)
- ② 行政の質を高める
(効率的な業務を行う)



「日本の高槻」へ

○全国の中核市等との指標比較や、民間調査機関等による客観的な評価を検証し、総合的に優れているまちを目指す

【資料2】中核市における行政水準比較

【資料3】日本の都市特性評価

【資料4】民間調査による自治体（駅）ランキング

(参考) 令和8年度予算編成方針（抜粋）

本年2月には、本市の更なる成長に向けた新たなステージに踏み出すため、これまでの「歳入改革」「歳出改革」「公営企業・外郭団体改革」に加え、「成長戦略」を新たに位置付けた「みらいのための改革方針（－「大阪の高槻」から「日本の高槻」へ－）」を策定したところである。

高槻の成長・発展は一朝一夕に実現するものではなく、その実現には縮小均衡に陥ることなく、着実な改革による健全財政を基盤とした積極的な投資に間断なく取り組むことが不可欠である。

令和8年度の予算においては、市民が愛着と誇りを持ち、全国に存在感を示す「日本の高槻」として更なる飛躍を遂げるため、市民満足度を高める施策の充実はもとより、歴史や自然など本市固有の地域資源をいかした本市にしかできないまちづくりを一層加速し、輝く未来に向けた成長基盤をソフト・ハードの両面から構築していくこととする。あわせて、シビックプライドの醸成や市外への魅力発信につながるよう情報発信の強化を図ることとする。